



桜川保育園
 〒300-0048 土浦市田中三丁目4番5号
 【TEL】029-821-8341 【FAX】029-823-0390
 【E-mail】sakuragawa@showfukai.com
 【URL】http://showfukai.com/
 【発行責任者】施設長 宇都野 和司
 ※掲載写真は、保護者の同意を得ています。

桜川保育園 だより



開園二年目に向けて!



施設長
宇都野 和司

基礎を「コツコツ」と積み上げていきます

新年あけましておめでとうございます。
 昨年4月に開園し、初めてのお正月を迎えました。例年であれば、すがすがしい気持ちで迎える新春ですが、今年はコロナ禍で、心配と不安の入り交じった幕開けとなりました。

まだまだ、非常に厳しい感染状況が続いていますが、新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し、安寧な生活が送れることを願ってやみません。

今年は、十二支の動物の中でも、最も動きが緩慢で歩みの遅い丑(牛)年です。丑年は先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大事な年であり、また、十二支の2番目であることから、前の年に蒔いた種が芽を出して成長する時期ともいわれています。

当園も開園2年目となりますが、結果を求める時期ではなく、結果につながる基礎をコツコツと積み上げていきたいと考えています。

私たち職員にできることを「ゆっくり、じゅっくり」確実にやり遂げ、引き続き、感染症予防対策を徹底するとともに、子どもたちの笑顔と元気な声が満ち溢れ、保護者の皆様並びに地域の皆様から信頼される保育園を目指してまいりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



園長

宮本 ひろ子

笑顔が一層輝くように保育を進めます

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春をお健やかに過ごしたことと存じます。昨年は新型コロナウイルス感染症が世界的に広がり人々の生活が様変わりしました。私たちにおきまして、4月に民間保育園として新たな一歩を踏み出したところに、この新型コロナウイルス感染症の影響で「今までどおり」ということがさらに困難になりました。

保護者の皆様には、新設保育園というだけでも不安があったところに追い打ちをかけるような事だっと思えます。私たちにどうもどう対応していくか全ての事で悩みました。その都度、皆様のご理解とご協力をいただきながら壁を一つずつ乗り越えてきたように思います。いろいろなことが制限され我慢しなくてはならない状況の中でしたが、保育園の中だけでも、できるだけ豊かな経験をさせてあげたいと思い、感染防止を徹底しながら年中行事などをみんなで楽しんできました。そして、子どもたちの笑顔は私たちの気持ちをとてても明るく元気にしてくれました。

令和3年度も子どもたちの笑顔が一層輝くよう、職員一同、力を合わせて楽しい保育を進めてまいりますので、保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



新年を迎えて、今・・・

私の仕事(栄養士、管理員)

社会人として心掛けていること(新採職員)



栄養士 高島 真実

調理室では、現在、園児81人分と職員30人分の食事を毎日調理しています。

私が献立作成で心がけていることは、「手作り」です。インスタントや外食の味に慣れてしまう子供が多い中で、食材そのものの味を美味しく感じてほしいからです。

そのため、毎朝、鰹節と煮干しで出汁をとり、冷凍食品はなるべく使用せず、薄味でも美味しい給食を目指しています。その分、手間はかかりますが、子どもたちからの「〇〇がまた食べたい!」「〇〇が嫌いだったけど食べられた!」など、率直な感想はやりがいにもなります。

また、保育園に通う乳幼児時期は「味覚や食嗜好の基礎が培われる重要な成長時期」と言われ、給食の献立も成長に合わせて必要になります。通常の幼児食、離乳食に加え、食物アレルギーをもつ園児もいるので、できる限りみんなと同じものを食



管理員 大原 照実

べさせてあげられるよう、保護者からの聞き取りをもとに、栄養士と担任、保護者の三者で話し合い、工夫しながら食事の提供を行っています。

私たちが働いている調理室に、元気な声や笑顔を届けてくれる子どもたちが、毎日の給食を楽しみにし、いろいろな物を食べてみたいという意欲につながるよう、今後も質の高い給食の提供をしていきたいと思えます。

私はこれまで幼稚園の保育補助員として、送迎バスの添乗、絵本の読み聞かせ、各種行事の手伝いなど、様々なことをしてきましたが、この度、縁があって4月から桜川保育園で管理員として仕事をはじめました。

主な仕事は、園舎の清掃や園庭の管理、園舎外の整備などです。保育室の掃除は各クラスが担当が行いますが、玄関やトイレ、廊下、ホールな



どの共有スペースと園庭の清掃は管理員が担当します。花壇の草花が生き生きと育つように、定期的な水やりや手入れも欠かせません。

また、0歳児や1歳児クラスの子が使うおもむつの回収と処分のほか、子どもたちの日中の汚れ物なども洗濯します。保育園ではいろいろな洗濯物が出るので、洗濯機は1日中フル回転の状態になるほどです。

その他にも、園舎の内外で危険箇所や不具合が見つかったときにはすぐに報告して、速やかに完全な状態にします。子どもたちが安全に保育園生活を送れるように日曜大工のような仕事を手掛けることや保育士の仕事に支障が出ないように絶えず細かなところまで目を光らせていることも管理員の仕事です。



にじ組 (2歳児) 担任 伊藤 彩乃

時には子どもたちがお昼寝するときの布団敷きや保育士が研修などで不在の時には保育補助に携わるなど、子どもたちとも触れ合う機会もたくさんあります。そういう時には、子どもたちの満面の笑顔と元気な姿にたくさんのパワーをもらっています。

4月から保育園で保育士として働く事になりました。保育士としても社会人としても1年目なので分からないうことはありますが、先輩方に相談したりアドバイスをいただいたりして、日々勉強しながら過ごしています。働き始めて、早9か月が経とうとしていますが、常に責任感をもって仕事に取り組みむという事を大切にしています。

保育士は子どもの命を預かるという大きな責任を伴う仕事です。その中でも、第一に心がけていることは、子どものケガや体調の変化に絶えず気を付け、大きな事故が起きないように常に周りに目を配りながら仕事に取り組みむことです。ケガをしたり事故が起きたりする時は一瞬なので、ケガや事故に繋がらないように環境を整えておくことはもちろんですが、子どもたちと一緒に危ないことについて考え、行動するようにしています。

次に心がけていることは、「報告、連絡、相談」です。先輩方から「報連相(ほう、れん、そう)は仕事をする上での基本である」と教えていただいています。園にいる子どもを、自分ひとりで見るのではなく、「保育士同士の連携を大切にし、子どもを園全体で見ている」という安心感を保護者の方々に伝えられるように「報連相」を徹底していきたいと思っています。



はな組 (1歳児) 担任 久保田 海

9か月が経ちますが、学生時代に思い描いていた「子どもたちの笑顔があふれる教室で、楽しく保育をしたい」といったものとは全く違い、生活リズムにも大きな変化がありました。

仕事が始まり、未熟で分からないことが多い毎日でしたが、先輩方にアドバイスをいただき、先輩方の子どもたちへの接し方、保育の展開の仕方、保護者対応などを観察しながら学び、吸収しながら少しずつ仕事にも慣れ、無事に新年を迎えることができました。

社会に出て働くということとは、まず「個人プレーではなくチームプレーを重視しなければならぬ」ということを自覚しました。何かあった時に自己判断で行動するのではなく組織のルールを守って行動し、自分のためだけでなく、「一緒に働いている職員や職場のために行動

する」という社会人としての当たり前の行動ができるように頑張っていきたいと思っています。

また、体調管理を十分に行っていくことも社会人として気をつけなければならぬということも自覚した一つです。私は昨年の8月に体調を崩し、休暇を取らなければならぬ状況になってしまいました。その時に、子どもたちに関わらずに他の先生方に迷惑をかけてしまったことなどを実際に経験し、改めて健康であることの大切さを思い知ることができました。

もうすぐ、2年目に入りますが、今まで以上に体調管理に気を付けながら、コロナ禍での感染予防対策をしっかりとい行い、社会人としても保育士としても立派な人間になれるように努力していきたいと思っています。



2021年の新しい年がスタートしました。子どもたちは、年末年始の休み明け、久しぶりに会う友だちや保育者に少し照れた様子を見せながらも、元気に新年の挨拶をしていました。

進級に向けて、ひとつ大きくなることに期待をしながら、それぞれ、現在の部屋(クラス)での残りの時間を大切に過ごしています。

当園では、「保育方針」として日本の伝統文化や行事を保育活動の中に取り入れることを大切にしています。「フォト・コーナー」で新春の行事をご紹介します。

フォト・コーナー



▲ はな組(1歳児)

▲ ゆめ組(0歳児)



▲ 春の七草

新年最初の「1月の集会」では、お正月遊びや七草粥について、子どもたちに話をしました。

おやつに七草風粥が出ると、そら組(5歳児)の子どもたちは「せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ」と指で数え始め、「なんだっけ?」と確認する姿が見られるなど、その姿は微笑ましいものでした。また、集会後に大きな獅子がホールに登場し、「獅子舞」を披露しました。

その「獅子舞」を見ていた子どもたちは、中には驚きの表情を見せる子もいましたが、頭を噛んで欲しいと自ら獅子に近づいていくたくましい子もいました。邪気を祓って1年間元気に過ごすことができ



▲ にじ組(2歳児)

るようにと願いを込めて、優しい獅子に子どもたちと職員全員が頭を噛んでもらい、体についている全ての悪い物を食べてもらいました。

きっと素敵な1年を過ごせることでしょう!!

1月8日、小正月の行事として餅をつき、「ならせ餅」を作りました。わらの上に杵と臼を置き、全園児で周りを囲み、理事長をはじめ、そら組（5歳児）の子どもたちが保育園の代表として、周りからの「ヨイシヨイ」の掛け声に合わせて、カー杯餅をつきました。

もち米が少しずつ餅になっていく様子を眺め、餅がつけたときにはみんなが歓声を上げて喜び、その後、紅白の餅丸めに夢中になって取り組んでいました。

餅を木につけ、完成した「ならせ餅」を玄関先に飾り、「お花みたい」と言いながらも、手を合わせて「五穀豊穡」と「無病息災」をお願いしました。



 餅つき、ならせ餅



 凧揚げ

お正月遊びの一つとして、「凧揚げ」を行いました。年齢に応じてそれぞれビニール袋をアレンジして制作しました。

凧を高く上げようと手をぐんと伸ばし、園庭をカー杯走る姿はとても可愛く、ゆらゆらと動きまわる凧に大喜びでした。

昔からの伝統的な遊びも大切にしていきたいものですね。





保育補助員 菊池 星良
(SEIRA MENDOZA KIKUCHI)

Let's try English! 英語で「日常保育」を!

今年度から小学校の授業にも取り入れられている『外国語活動(英語)』に慣れるため、当園では、保育補助員による「英語(ネイティブ)に親しむ保育」を開始しました。新しい体験と、「世界に羽ばたく子どもたちの夢」の実現を目指します。

Learning a new language is a big advantage, especially English! By being able to understand and speak basic english, you can go anywhere around the world, make more friends and have lots of opportunities! That's why it is best to start getting exposed with the english language as early as now! Children are great learners, especially when they are having fun. Incorporating various activities, creative materials, and active educational play can help boost the kids' understanding and motivation for learning. They will love to repeat the words with confidence, and respond enthusiastically when they know they can be free in their learning environment.

【日本語訳】

新しい言語、特に英語を学ぶことはたいへん便利であり、基礎的な英語を理解して話すことができれば、世界中どこへでも行って、友だちを増やすことができるなど、たくさんの機会を得ることができます。ですから、早いうちに英語にふれることが大事です。

特に、子どもたちが楽しんで物事に取り組んでいるときには、たいへん勉強になるので、様々な活動、創造的な資料、及び積極的に教育的な遊びを取り入れることで、子どもの理解と学習意欲を高めることができます。

子どもたちは、教えたことに対して自信をもって繰り返し答えてくれるので、学習環境の中(クラス)で自由に話ができれば、熱心に反応するようになります。

桜川保育園は、令和2年3月までは土浦市の運営による公立保育所であったため、保育内容に対して信頼感と



桜川保育園保護者会
会長 大内 良美

安心感がありました。一方で、4月から社会福祉法人の運営に代わることに對し、未知なことも多く、当初は不安が大きかったというのが正直な気持ちでした。しかしながら、新保育園が開園し、子どもに対する保育の様子や子どもたち自身の様子を見ているうちに、以前にも増して、それぞれの子

ものの個性を引き出してきていることや、子どもが自身を自由に表現できるようになってきたことを感じ取った時、不安から一転して信頼が深まってくるようになりまし。特に、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、親子同士が関わり合う行事も減ってしまい、寂しさを感じ



ていまして、そのような中でも、職員の皆様が子どもたちの気持ちを全面的に考え、思いやりの気持ちをもって多くの行事を工夫しながら開催してくださったことにはたいへん感謝しています。例えば、昨年開催された「ハロウィン」や「クリスマス会」では、羽鳥理事長をはじめ、職員の皆様の仮装により、子どもたちが楽しめるように場を盛り上げていただいたと聞いています。また、新年の「獅子舞」でのお獅子との触れ合いは、初めての子どもにとって貴重な体験になったことでしょうか。このように、子どもたち思

いの素晴らしい職員の方々が働いている保育園なので、今後さらに人気のある保育園となり、来年度以降も園児の数が増えると確信しています。そうなった際にも、今と同様に園児一人ひとりと温かく関わり続けていただけることを期待してやみません。現在、「そら組」の私の子どもは4月に卒園しますが、下の子どもたち2人は引き続き桜川保育園でお世話になります。今後とも、保育園と保護者会が協力しながら、より良い保育園になるよう微力ながらご協力をさせていただきますので、よろしくお願いたします。

